

「事務職員協会ホームページの活用による事務効率化について」

- あぎじゃびよお ちびらさあっさあ -

沖縄県立学校事務職員協会中部支部 A 研究委員会

(中部地区研究発表グループ)

発表者 沖縄県立美来工科高等学校

主任 高宮城 了

沖縄県立具志川高等学校

主任 安里 尚悟

沖縄県立前原高等学校

事務主事 比嘉 良武

1. はじめに

現在、沖縄県の県立学校は76校で事務職員数は367名を数えます。離島を多く抱えているということで、地区によって経験年数にばらつきがあり特に離島北部地区では採用4年未満(臨任含む)が50名中32人と若い世代が多くなっています。そのため経験豊富な先輩が身近にいない学校は、窓口業務・電話対応などの渉外業務、施設管理業務や財務事務など幅広い業務をこなし何気ない仕事内容について、身近にいる事務職員で解決できない時があります。その時は他校へ問い合わせの電話をかけるなどの手段が考えられます。しかし面識がない方への電話は業務を中断させて迷惑しているのではないかと思うものです。やはり他校への電話による問い合わせは相手に対しての気遣いから躊躇してしまう現状ではないでしょうか。

また全国の流れの中でアウトソーシングや事務センターなど事務集中管理を行い職員削減に向けての動きがあります。その中で業務量の増加や業務内容の変化など、煩雑化・多様化している日常業務を背景にした多忙感を抱いている事務職員も少なくないでしょう。特に離島・北部地区など事務職員が少ない学校へ異動してきた新規採用職員や臨時的任用職員は、新しい環境へ戸惑いを感じながら、業務変化があまりに早すぎることから事務処理に習熟するのに時間もかかり、結果的に軽微な事務処理上のミスが発生することにつながりかねない状況にあります。個々の負担感をなるべく少なくし業務をスムーズに進めるための手立てを施策することが急務の課題となっています。

今回、日常の課題の中で業務を見直し能率的・

効率化を図る手段として、新しい赴任先でも、また初めて学校事務として勤めることになった事務職員も同じように業務上知り得る情報を容易に知ることができ、共有できる協会ホームページに改良・改善していけないかと考えました。

まず沖縄県立学校事務職員協会の現状・問題点・課題について

(現状)

- ・定数削減や業務の多忙化が進んでいる
- ・各支部で係りごとの研修を行っている(研修報告を冲学事務ホームページへ)
- ・日頃の業務で沖縄県立学校事務職員協会のホームページをあまり活用していない(内容をあまり知られていない)
- ・初歩的な質問をすることに抵抗感を抱く職員が多い
- ・事務職員同士のコミュニケーションツールが限られている
- ・Shogo.Application を使用している事務職員が多い(後述で紹介します)

(問題点)

- ・さらなる沖縄県立学校事務職員協会ホームページコンテンツの充実
- ・業務上の疑問についてタイムリーな回答を得られない
- ・他校との事務職員とコミュニケーションがとりやすい環境づくりが必要

(課題)

- ・事務の効率化(そこを利用すればだいたい解決するものがあつたらいいな)
- ・若い世代への知識やノウハウの継承
- ・採用まもない事務職員でもコミュニケーション

ンがとりやすい環境づくり

以上の現状などがある中で昨年度、佐賀県立学校事務職員協会の発表されていた教育情報交流サイト「Es-Commons(エスコモンズ)」を利用した内容を参考にさせていただきながら、方向性と目標を以下のように設定してみました。

(方向性)

- ・情報の共有
- ・業務上の疑問についてタイムリーな回答を得られるサイトづくり
- ・業務上、知り得た知識を蓄積することができるサイトづくり
- ・日頃の業務で事務職員協会のホームページを活用してもらう

(目標)

- ・県全体の学校事務職員の経験値を県内全学校で業務に生かすことができ、知識やノウハウを継承。学校事務職員同士の連携を密にしさらなる飛躍を目指す

このような方向性と目標をもち沖縄県立学校事務職員協会ホームページの活用状況と照らし合わせながら改善策を模索し、沖縄県立学校事務職員協会としての取り組みを紹介していきます。

2. 沖縄県立学校事務職員協会ホームページ活用状況について



本サイトの主なコンテンツについて

新着情報

サイト全体に関係する情報やユーザーが参加しているグループの情報を集約して最新の更新情

報をひとつの画面に表示するためのモジュールです。

協会長あいさつ

名称のとおり現沖縄県立学校事務職員協会長のあいさつ文。

事業計画

現年度の研修計画や各部の推進計画

各種研究大会の参加促進(九州・全国事務職員研究大会など)計画を掲載。

組織図

沖縄県立学校事務職員協会の各部役員・部会・各部の構成や事業内容を掲載。

会務報告

平成16年度より毎年度、沖縄県立学校事務職員協会の役員会・理事会開催や総会報告や研究大会派遣報告など掲載。

研究発表

沖縄県立学校事務職員協会員が平成19年度より九州大会や全国大会で発表した研究発表報告書・大会報告などを掲載。

実務

実務全般を取り扱い過去の監査報告や手引きなどを掲載している。後述でもご紹介するVBAを使った業務支援ソフト Shogo.Application などはこちらコンテンツに掲載されている。ただし、パスワード管理されているためログインは限定される。

掲示板(協会専用)

実務全般など業務における疑問や質問を投稿し、返信者より回答や「うちの学校ではこんなですよ」など情報交換として活用されている。掲示板(協会専用)に登録をすることによって掲示板への書き込みが行われると登録されたメールアドレスに書き込み通知(案内)が送られてくる。ただし、パスワード管理されているためログインは限定される。

ていーだ(会報)

沖縄県事務職員協会会報誌(平成24年度版)

新規採用者の自己紹介文や退職者の後輩へのメッセージが主な内容。ただし、パスワード管理されているためログインは限定される。

以上が現在の沖縄県立事務職員協会ホームページのコンテンツの内容となっております。

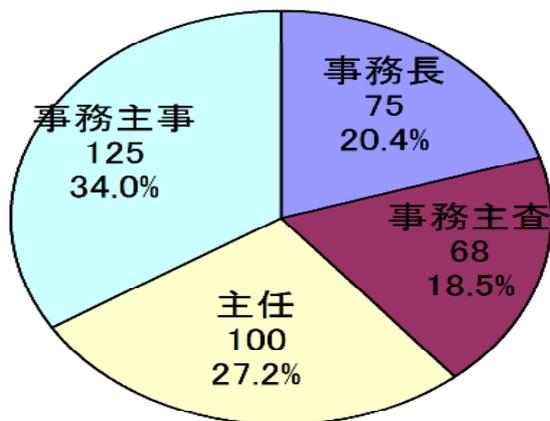
主な「Shogo.Application」業務支援ソフトを5つをご紹介いたしました。事務職員協会ホームページの一部のコンテンツで「Shogo.Application」を利用し活用している事務職員が多くいる一方で、上記の問題点で述べたとおり「業務上の疑問についてタイムリーな回答を得られる」また「他校の事務職員とのコミュニケーションがとりやすい環境づくり」を必要としている課題の解決に利用できそうなコンテンツが事務職員協会ホームページにないために、日頃の業務で事務職員協会ホームページがあまり活用されていない現状があるのではと考えられます。

3. アンケート考察

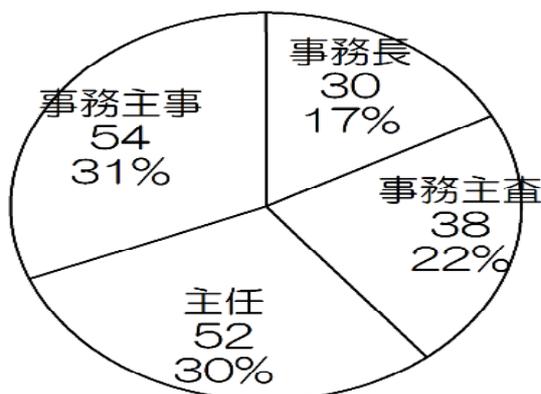
今後の事務職員として業務を進めていく上での礎になるようなホームページ活用を目指し、多くの意見を反映させていくためにアンケートによる検証を用いることにしました。

アンケート回答者について（回答数174名）事務職員協会の職別の構成とほぼ同じ構成で、約半数の方に回答していただきました。

平成性24年度 職位別構成



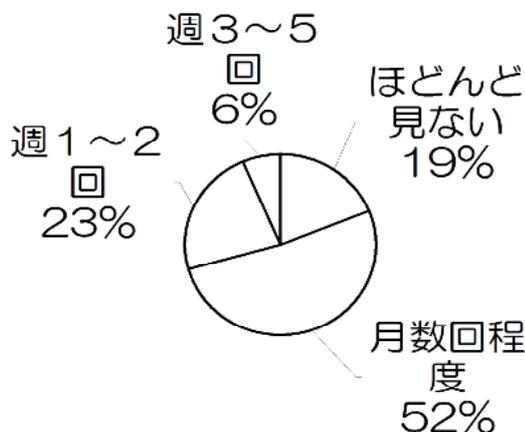
アンケート回答者



閲覧頻度

Q. 事務職員協会ホームページを、どのくらいの頻度で利用しますか？

事務職員協会ホームページの利用頻度



【ほとんど見ない】と【月数回程度】を合わせると7割以上にのぼり、残念ながらあまり閲覧されていないことがわかります。週1回以上定期的に閲覧している人は少数のようです。

利用しない理由からわかること

【ほとんど見ない】と【月数回程度】と回答した方へ、ホームページをあまり見ない理由を尋ねてみると、以下のような意見が挙がりました。

一番多かったのは、『必要なときに見る』（32%）という意見で、疑問に思ったことを調べる時や、業務支援ソフト（後述）を入手する時にホームページを開くというように、閲覧頻度が低くても、ホームページがある程度活用されている様子わかります。

一方で、『更新の頻度が低い』（8%）、『必要な情報が載っていない』（19%）という意見もあり、ホームページを現在よりも頻繁に更新し、内容を充実させれば、今後活用する人の増加が見込めると考えられます。

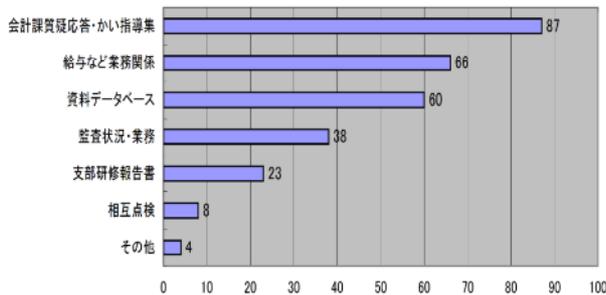
また、『ホームページの存在を知らなかった』、『活用方法がわからない』といった意見もあり、ホームページの存在や活用法（どのような情報が載っているか等）を周知していく必要があるようです。

よく利用するコンテンツ

業務に直接役立つページがよく利用されていることがわかります。特に業務支援ソフトを利用しているという意見が多く見られました。

Q. HPのどのコンテンツをよく利用しますか？

Q. 上記設問で実務と回答した方のみお願いします。実務の中でよく利用するコンテンツはどれですか？



上記質問に対する回答として HP のコンテンツは実務を利用している方が多く、次に掲示板の利用が多い。また実務の中でも会計課質疑応答・かい指導集や給与など業務関係が多く利用されている。

業務支援ソフト【Shogo.Application】

回答者の約 8 割が利用していると回答しており、先ほどの意見にもあるように、業務支援ソフトを使用するために、ホームページを活用している人が多いことがわかります。業務支援ソフトは、校種を問わない庶務や旅費、給与等に関するものがよく利用されているようです。

要望

一番多かったのは、『例規や業務に役立つ資料のデータベースを作ってほしい』という意見でした。また、気軽に相談できる場がほしいという意見や協会ホームページの運営をごく少数で行っている現状では、今以上の要望はないという意見も多くありました。

取り組むべきこと

現状でもある程度有用なコンテンツがあり活用している人もいるが、存在を知らない、利用法がわからない人もいるため、協会ホームページにもっと関心を持ってもらい、まず協会ホームページを閲覧してもらうことが必要です（未利用者の掘り起こし）

要望にもあったように気軽に相談したいがどんな相手か顔の見えない事務職員へ電話は気が引けるもので

す。日頃からの事務職員同士のコミュニケーションづくりの一端として、事務職員紹介コーナーを作りリリース形式で投稿していくことにしました。業務とは直接関係のないコーナーですが、協会ホームページを開くきっかけとなり、親近感を持ってもらうことができるのではないかと期待が寄せられます。

次に既存のユーザーの閲覧回数を増やすために、要望の多かった「例規・資料集」の整備を行い、ちょっとした疑問でも、誰かに聞く前にまず確認してみるようなサイトを目指した。現在一部ユーザーにしか利用されていない掲示板をもっと盛り上げるようにするために、新着の投稿があったらメールで知らせるサービス（前からあるものがあまり知られていなかった）を事務職員全員へメールにて周知することも行うことにします。

Q. 業務支援ソフト (Shogo.Applicatoin) を使用したことがありますか？

	ポイント数	
はい	139	80%
いいえ	35	20%
174		

Q. 上記設問で「はい」と答えた方で使用したことがあるソフトを選択して下さい。



4. 協会ホームページの改善・改良

コンテンツ内容の充実(「例規・資料集」の整備)アンケート考察をもとにまず取り組んだのが、会計課や教育庁などから過去に出された通知文や事務連絡の文書を協会ホームページへ掲載することから取り組みを始めました。



協会ホームページ 実務内



実務内 例規集

例規集

	勤務時間変更に伴う休暇取扱い及び出席簿の記載方法について
	種別) 服務 事務連絡(教保) 平成21年5月18日
[編集]	
	完全学校週5日制の実施に伴う公立学校職員の勤務時間の取扱い等について(通知)
	種別) 服務 教保第3704号 平成14年3月27日
平成14年3月27日付 教保第3704号 公立学校職員は週5日制になりました。	
[編集]	
	勤務時間の短縮に伴う関係規則等の一部改正について
	種別) 服務 事務連絡(県立学校教育課長) 平成21年3月31日
県立学校に勤務する職員の勤務時間は、1週間当たり38時間45分となりました。	
[編集]	

歳入・庶務・服務・旅費・給与・人事・歳出・備品・就学奨励費・施設・財産など毎年(引き続き同じ担当のこともあります)持ち回りで各学校事務分掌を任されていますが、任された事務に関する通知文書の確認が必要なものがでてくることあります。『昨年事務連絡で連絡していたのですが確認して下さい』『以前このようなサービスについて通知を出したので確認してみてください』など、うちの学校にはそんな通知文や事務連絡の文書みたことないなあと困ってしまう経験をされたことがある方も少なくないと思います。そのような状況を日頃感じながらも多忙の業務の中で打開点を見つけられずにいた現状もあったのではないのでしょうか。そのような現状もあり、またアンケート考察にも多く寄せられていた「例規・資料集」の整備を協会ホームページへどのように掲載し継続していくか検討していきました。

まず中部地区研究員の学校に保管されている通知文や事務連絡の文書を提供してもらい各研究員で協会ホームページへアップロードまで行ってもらうことにしました。歳入・庶務・服務・旅費・給与・人事・歳出・備品・就学奨励費・施設・財産などそれぞれの担当分野ごとに在籍中の学校にある通知文や事務連絡の文書を探してもらい後日、公開すると共に閲覧した事務職員よりご意見ご要望を頂くことにしました。

掲示板の利用について
 現在、協会ホームページのコンテンツとして掲示板があり日々の疑問・質問・「Shogo.Application」の更新情報などを掲載しています。現状は一部ユーザーにしか利用されていない掲示板をもっと活発な意見交換の場とするために、多くの事務職員の利用促進として新着の投稿があったらメールで知らせるサービス(前からあるものがあまり知られていなかった)を事務職員全員へメールにて周知を行いました。簡単な登録作業を行い掲示板へ投稿があると自動的に一人一人に割り当てられているメールアドレスへ書込通知が送られてきます。投稿内容を確認し回答・状況報告など返信の書き込みを行うことができます。掲示板を活発に利用するにあたり問題点もあり(ア)事前登録しないと書込通知が送られてこないこと(イ)事前登録を呼びかけても登録は一人一人の判断に任されているため事前登録する人がまだ 3 分の 1 にも満たない

(ウ) 掲示板に書き込まれても事前登録者が少ないため多くの返信書込が期待できないなどまだまだ課題が残されています。

協会員紹介コーナー

現在、沖縄県の県立学校は76校で事務職員数は367名を数え経験年数にばらつきがあり、また他校との事務職員の交流も少なくなっていることからお互いのコミュニケーションがとりづらくなっている現状です。

安里 高等学校)	
	職名: 主任
	担当: 給与・人事・福利
	採用年: H11年
Shogo.Application開発者 事務職員協会HP管理者 Excel VBAなららせて！ 高校は、毎年のように臨任・新採が来るので、仕事を教えるのが上手くなったかも？ 好きなスポーツ: テニス、卓球、サッカー 意外な特技: 将棋(朝日新聞主催の大会(A級)で優勝経験あり) 次に紹介する人: 高原 さんです！	
編集用パスワード: <input type="password"/> <input type="button" value="編集"/>	

高宮城 高等学校)	
	職名: 主任
	担当: 旅費・服務
	採用年: 平成11年度
どうも、高宮城です。最近、痩せてイケメンになったと言われますが、残念ながら既婚者ですので恐れないで下さい。 趣味は下手なヴァイオリンと空手と中国武術と量産喫茶。 武術関係、特に空手に関しては知識は相当あるので知りたいことがあるなら何でも聞いて下さい。 出身高校は 高校(2期)ですので先輩後輩の首領よろしく。 仕事に関してはイマイチなので皆さんご指導よろしくお願ひします。 次に紹介する人: 高校の島袋 さんです。	
編集用パスワード: <input type="password"/> <input type="button" value="編集"/>	

比嘉 高校)	
	職名: 事務主事
	担当: 庶務・服務・福利
	採用年: 平成22年度
高校の比嘉 です 毎日先輩方に助けてもらってばかりです 恥ずかしいが、なかなか気持ちを伝えられないので、 今日はこの場を借りて感謝の気持ちを伝えたいと思います よく真面目と言われますが、ジョーク大好きです 自分で冗談やると本気と思われるので、自分からは控えています 同期うるま市同好会で月1のランチが楽しみです 次のハトンは: のアムロ! 安室 さんです 次に紹介する人: の安室 さんです	
編集用パスワード: <input type="password"/> <input type="button" value="編集"/>	

人となりを紹介することによってより身近に感じることができ、コミュニケーションの話題の一端になるのではと考え協会員紹介コーナー(自己紹介)を開設することになりました。まず事務主事・主任・事務主査・事務長といったように役職ごとにリレー形式で行うことにし、協会員紹介の書式は自己紹介文のほかに現在の分掌や採用年月日また好きな写真を掲載できる機能を付けました。

リレーの方法として自己紹介をホームページへ載せた方が次に同じ役職の事務職員を紹介し、紹介された事務職員は一週間以内に自己紹介をホームページに掲載し次の方に紹介をつないでいくことにしました。協会員紹介コーナー開設時は『だれを紹介してよいか悩んでしまう』『何を自己紹介してよいか悩んでしまう』など、なかなか次の方への紹介が進まず企画倒れになるのではと心配しましたが、開設後1ヶ月を過ぎるくらいから次々に協会員紹介コーナーへの自己紹介が掲載されるようになり、『協会員紹介コーナーへ早く自己紹介したいんだけどいつ自分のところにまわってくるの』『どの写真を載せようかまよってしまう』など好意的な感想を聞かれるようになり、また自己紹介文の内容として個人的な趣味や家族のことまた職場の近況報告など親しみやすい内容があったり事務職員の和がさらに広がりを見せつつあります。

5. 今後の課題と展望

課題(1)協会ホームページのさらなるコンテンツ充実については、会計課や教育庁などから過去に出された通知文や事務連絡の文書を協会ホームページへ掲載することから取り組みを始めてきましたが、現在は中部地区研究発表グループの研究員が各分掌ごとで協会ホームページに掲載をおこなってきており、研究発表グループが解散した後、各分掌ごとで個人個人へ依頼する方法や各支部ごとに毎年度係を持ち回りでお願いしていくなど、どのように継続していけるかが大きな課題となっております。又過去に改正があったり以前の事務連絡が無効になっていたりと正確で信頼のおけるコンテンツづくりに努めていくための取り組みも必要になってきます。したがって正確で信頼のおけるコンテンツづくりが確立できれば古い資料を何時間も探したり他の学校へ探してる文書をFAXしてもらおうなどの手間が省け業務の効率化に大き

な期待が持てます。

課題(2)業務上の疑問についてタイムリーな回答を得られない課題については、協会ホームページのコンテンツ内にある掲示板を利用。日々の疑問・質問を多くの事務職員に閲覧してもらえるように利用促進しました。その手段として新着の投稿があったらメールで知らせるサービスを事務職員全員へメールにて周知を行いました。メールアドレスの登録が必要なため「個人情報が漏れるのではないか」「迷惑メールがくるようになるのでは」との心配の声も聞かれ、多くの事務職員のご意見を投稿してもらえるように、総会や研修会などで安全性を説明した上で周知を図りまたメールでの定期的な呼びかけを行っていくことにしました。今後の展望としては掲示板の利用活性化が日頃の何気ない疑問・質問や法規の解釈また各学校での取り組み状況等様々な分野で共通の情報共有がなされていくことが期待でき多くの可能性を秘めています。

課題(3)他校の事務職員とコミュニケーションがとりやすい環境づくりが必要との課題についてはリレー形式で自己紹介していく協会員紹介コーナーを開設し、業務内容だけでなく何気ない日常の表情を伝えていくことでコミュニケーションのきっかけになり事務職員同士の幅が広がりを見せております。一方で、紹介の投稿をどのようにしたらよいかわからないまた、投稿の確定ボタンを押したらエラーメッセージが出たなど操作方法について惑いも多く、協会員紹介コーナーへの投稿が鈍化してきている現状もあります。操作方法についての窓口を設けたり、再度総会や研修会などで趣旨説明やメールでの呼びかけを行い参加を推進していきたいと考えております。

上記 3 つの項目について共通の課題はやはり継続していきけるかになってきます。今後 5 年 10 年と続けていける仕組みを打ち立てることが可能であれば、初めて学校事務として勤めることになった事務職員も同じように業務上知り得る情報を容易に知ることができ共有できる協会ホームページになると考え、協会ホームページは情報の宝庫として活発に利用され続けていくと思います。

6. おわりに

事務職員が利用している協会ホームページでコンテンツの実務内にある excel のマクロを利用した業務用支援ソフト「Shogo.Application」を作成し

た沖縄県立学校事務職員の一員である A.S さんが中部地区研究発表グループの一員でもあり、また協会ホームページの管理者でもあるため、協会ホームページの改善・改良を進めやすいのではとの意見から今回の研究発表として取り組んで参りました。協会ホームページの日頃の活用方法をもっと便利なものにしていくために、現状のアンケート調査を行い業務への活用を模索していくなかで、「活用方法がわからない」「協会ホームページの存在自体を知らない」など多くの意見が寄せられました。協会ホームページが一部しか利用されていない状況に中部地区研究発表グループとしてどのように改良・改善していきけるかを議論・研究してきました。ノートパソコンが事務職員一人一台に配布されているためネットワークがつながっていればいつでも誰とでも情報をやりとりすることができ、また情報を共有することにより業務の効率化を図ることができます。その手段として協会ホームページを活用した情報交流ができる掲示板や協会員の幅を広げていける事務職員のリレー形式による紹介ページの作成、または過去の例規集・通知通達集などのホームページへの掲載を提唱してきました。現在、ホームページ作成に関する規約がなく責任の所在が不明な点もあるため、今後はホームページ作成に関する規約を設け協会ホームページを常に最新の情報を維持し、継続していく取組を続けていけることを今後の目標としています。沖縄県立学校事務職員の「ゆいまーる」で今まで築き上げてきた手法や伝統を守っていきながら新しいネットワークを用いることで共に事務職員同士の連携を密にし今後のさらなる飛躍を目指していきけるよう取り組みを続けていききたいと思っております。

沖縄県立学校事務職員協会中部支部 A 研究委員会
(中部地区研究発表グループ)

宜野湾高等学校	事務長	翁長博
石川高等学校	主任	富永敏嗣
前原高等学校	事務主事	比嘉良武
与勝高等学校	主任	島袋伸子
具志川高等学校	主任	安里尚悟
美里高等学校	主任	高原強志
コザ高等学校	主任	上間智子
中部農林高等学校	事務主事	比嘉大貴
美来工科高等学校	主任	高宮城了
美里工業高等学校	事務主事	安室聡子
美里工業高等学校	事務主事	新城寛樹
具志川商業高等学校	主任	西田靖治
美咲特別支援学校	事務主査	西原映子
沖縄高等特別支援学校	事務主事	前里奈央子